

2022年度こむ1会運営委員会の班別運営について

2022.10.1

松崎 洋祐

1. 2021年度の班別運営の議論

2021年度こむ1会運営委員会では班別運営を行って来ましたが、必ずしも全員の総意を得た体制では有りませんでした。運営体制について相当長時間にわたって議論されており、極論として「25名の運営委員は多いのもっと少人数での運営を図るべきでは？」との意見も出ていました。

今期はこの議論の継続でベストの結論が簡単に出るとは思われませんので、前期迄の班別運営の良さを生かしながら、新方式で運営したいと思います。

2. 新方式の班運営

2・1班運営は継続します。

2・2班は下記事項を考慮して編成します。

優先順位の高い項目から

- (1) 今期役員（連絡会議出席者5名）が必ず1名各班に入ります。
- (2) 過去の経験を考慮します。
- (3) ボランティア活動の種類…成るべく同じような活動グループと一緒に議論します。
- (4) PCの使える人を各班に入ってもらいます（PCは未調査）。
- (5) 出席の可能性を考慮します。
- (6) 残存期間を考慮します。

2・3班の役割等

1) 班長を決めます。…現役員は除きます。

2) 役割（輪番制の当番の班の役割）

①運営委員会当日の会議室のセットと撤去作業

②当日使用資料の原紙コピー（必要者は自分でコピーを取る）。

会議ではスマホを成るべく活用し、紙の使用を控えましょう（SDGs）。

その為にスマホ利用可能な方で、「コムワンネット」へのアクセスが出来ない

方は、まず班内で出来る人に教えてもらってください。それでもダメなら

運営会議終了後でも勉強会を開くとか、とにかく工夫して挑戦してみましよう。

③出席者の確認（時間短縮の為に別途記録用紙を活用）

④議事録の作成

3) 運営委員会の途中で、司会者の要請に従い班別ミーティングを行います。

そのとりまとめと発表は班内で分担して行いましょう。

4) 運営委員会の司会は、当番班の役員（連絡会議出席者）が行うこととします。